

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ご利用者様の高齢化に伴い外出の機会が減り、地域の方々との交流の機会が少なくなっています。	地域の行事への参加には意欲的に参加する。入所者様が地域とつながりながら暮らし続けるような交流を継続していく。	事業所への訪問(ボランティアや子供神輿の来苑など)は積極的に関わられるよう情報を確認する。また、地域で開催される認知症に関するイベントに参加するよう努める。	12ヶ月
2	20	本人が大切にしてきた馴染みの人や場所を把握するよう、日常的な会話などでくみ取ることができるが、関係が途切れないように支援する方法を明確にし実行することはできていない。	ご本人様の要望を各職員が日頃の支援で得た情報を持ち寄り、支援につなげる方法を話し合い実行していけるようにする。	各職員が日頃得たご本人様やご家族の要望を、月一回開催するグループホーム会議で情報を整理し共有しておく。実行するにあたり無理なく続けられる活動の計画をたてる。	12ヶ月
3	40	ご利用者様の認知機能やADLを考慮すると、準備・片付けの協働が困難な場面が増えてきている。	ご利用者様の現状をより理解することに努め、みんなで協力し食事を楽しめるようにする。	個々の能力を職員間で再度把握し、準備や片付けの概念を柔軟にし仕事を細分化して、利用者様みんなが役割を持てるようにする。また食事を楽しみにしていただけるようイベント食や季節感のある手作りおやつなどを時おり提供していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。